

平成 23 年 8 月 2 日

阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）
DBJ Green Building 認証制度において最高評価“プラチナ”を取得
～ 建設中のビル（プラン認証）としては第一号物件～

近鉄では、平成 26 年春のオープンを目指し、高さ日本一となる 300m の超高層複合ビル「阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）」（地下 5 階、地上 60 階）の建設事業を鋭意進めています。

今般、近鉄では建設中の同ビルについて、平成 23 年 7 月 27 日付で株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）が実施する DBJ Green Building 認証において、国内トップクラスの卓越した環境・社会への配慮がなされたビルに贈られる最高ランク評価“プラチナ”を取得しました。

本ビルは、「平成 20 年度国土交通省住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業」への採択や、CASBEE 大阪における S ランク達成など、これまででもその環境性能に高い評価をいただいています。

今回の認証においては、（1）最新技術を盛り込み、非常に優れた環境性能を有している点が改めて評価されたほか、（2）鉄道 7 路線と直結した抜群のアクセスの良さに加え、百貨店やホテルのほか複数のオフィスサポート施設を導入することでテナントの利便性を高め、オフィスとして極めて高いアメニティを提供している点、（3）美術館や屋上庭園など、ビジネスだけではなく、文化的でゆとりのある空間を提供し、新たなワークスタイルの創造を目指している点（4）地域全体の活性化のため、周辺地域と協働したまちづくりを行っている点、なども高い評価を受けました。

なお、同認証制度においては、これまでに 3 棟が“プラチナ”を取得していますが、建設中のビルに対する認証（プラン認証）としては、本ビルが初めて“プラチナ”を取得したことになります。

阿部野橋ターミナルビルでは、利用者の利便性、快適性を高めるだけでなく、エネルギーの有効活用を図り、CO₂ の排出量削減を強力に推進するなど、本建設事業が目指す「環境にやさしいまちづくりのリーディングプロジェクト」としての取組みをさらに強化してまいります。

< 参考 >

DBJ Green Building 認証制度

日本政策投資銀行が平成 23 年 4 月から運用を開始した制度で、ビルの環境性能に加えて、防災、防犯、及び不動産を取り巻くステークホルダーからの社会的要請に配慮した不動産（Green Building）の普及促進を目的に、DBJ が独自に開発したスコアリングモデルにより、時代の要請に応える優れた不動産を“プラチナ”、“ゴールド”、“シルバー”、“ブロンズ”の 4 段階の評価ランクで認証する制度。

阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）計画の概要

施設名称：阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）

所在地：大阪市阿倍野区阿倍野筋 1 丁目

開業予定：平成 26 年春

敷地面積：約 28,700m²

延床面積：約 212,000m²（既存建物と合わせて約 306,000 m²）

地上 60 階、地下 5 階

用途：百貨店：約 83,000m²

オフィス：約 62,000m²

ホテル：約 62,000m² ほか

設計：株式会社竹中工務店

外観デザイン設計：シーザー・ペリ氏

（ペリ クラーク ペリアーキテクト代表）

施工：竹中工務店、奥村組、大林組、

大日本土木、銭高組共同企業体

DBJ Green Building

Platinum



阿部野橋ターミナルビルタワー館（仮称）イメージパース

国土交通省住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業

住宅・建築物における省 CO₂ 対策を強力に推進し、住宅・建築物の市場価値を高めるとともに、住居・生産環境の向上を図るため、省 CO₂ の実現性に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを、国が公募し、整備費等の一部を補助するもの。

国土交通省 住宅・建築物環境対策事業（旧事業名称：住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業）

<http://www.kenken.go.jp/shouco2/>

CASBEE 大阪

大阪市建築物総合環境評価指針（CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）に基づき、大阪市の地域性を考慮して策定された指針）に基づいて建築物の環境性能評価を総合的に行う制度。

<http://www.city.osaka.lg.jp/keikakuchosei/page/0000011851.html>